

国立天文台・天文情報センター・特別客員研究員 中桐正夫

*** 65 cm望遠鏡によるハレー彗星の印画—19860103~19860509—**

1985年~1986年のハレー彗星の写真観測が東京天文台三鷹キャンパスの65 cm屈折望遠鏡で行われた。この観測を行ったのは65 cm望遠鏡で土星の衛星写真を撮って軌道改良を行っていた畑中至純氏であった。畑中氏は、65 cm望遠鏡でハレー彗星の撮影が可能な1985年11月9日から1986年5月9日まで観測可能な限り6か月にわたって写真撮影を行った。それらの写真乾板については、アーカイブ新聞第910号~916号の7号に陽画の形で報告した。畑中氏はこれらの写真を印画紙に焼き付けて展示できる形で保管されていた。これらの印画は写真乾板を密着で焼き付けられたものである。今回、畑中氏からそれらの印画を収集させていただいた。

この号では1985年1月3日~1986年5月9日を掲載する。



19860103



19860105



19860103-2



19860105-2



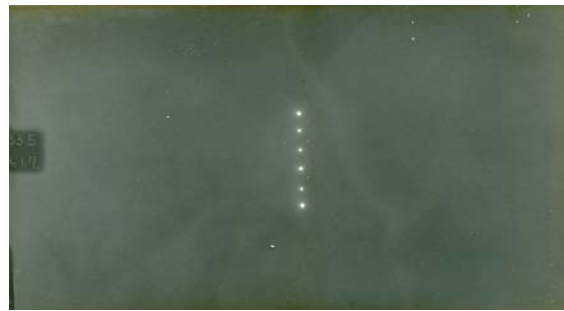
19860106



19860107



19860106-2



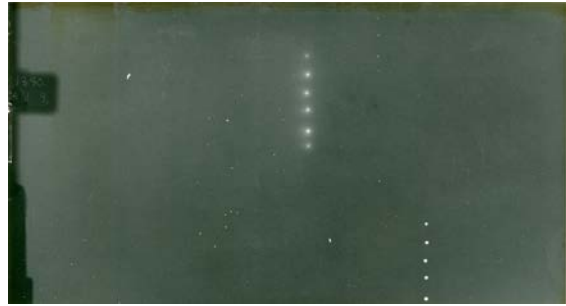
19860107-2



19860108



19860109



19860109-2



19860110



19860112



19860110-2



19860112-2



19860113



19860308



19860113-2



19860430



19860507



19860509

これらの画像のうち、19860105-2、19860106-2 の 2 つは、印画の向きが 90 度ずれていたが、ページのスペースの都合上、そのまま 90 度ずらして乗せた。

これらアーカイブ新聞の記事にお気づきのことがあれば、編集者中桐にご連絡いただければ幸いです。中桐のメールアドレスは、arcnaoj@pub.mtk.nao.ac.jp